

平成 7 年 9 月以降に当センターにおいて

病理解剖をお受けになった患者さんのご遺族の方へ

(1) 研究の概要について

当センターでは下記の研究機関と共同で「加齢に伴う血管の老化に関連する糖鎖および関連分子の検討」を実施しております。

超高齢化の進む日本において、フレイルの予防は、健康寿命の延伸のみならず、医療経済的にも重要な課題です。本邦の 3 大死因の一つである心血管病は、フレイルのリスクファクターである高血圧や糖尿病といった生活習慣病の重症化と関連しており、その予防・克服が必要です。しかしながら、心血管病の発症には、生活習慣病に加えて加齢や老化に伴う生体内環境因子が複雑に絡み合うなど、原因は多岐に渡っています。心血管病の発症機構を解明するために研究責任者は、血管の内側で血管機能の中心的役割を担っている血管内皮細胞に着目し、老化研究を行っています。

研究責任者は、ヒト血管内皮細胞を用いた老化研究により、老化に伴って細胞表面の糖鎖と呼ばれる分子の一つが増加することを見出し、論文発表しました。この糖鎖の増加は、内皮機能の一つであるインスリン感受性に影響を与えることがわかりました。さらに、糖鎖の分解に関わる分子が老化で増加することも見出しています。老化に伴うこうした糖鎖や関連分子の発現について、実際のヒト組織では明らかにされていないので、加齢に伴って発現が増加しているか検討する予定です。

具体的には平成 7 年以降に東京都健康長寿医療センター（旧東京都老人医療センターを含む）で病理解剖された方が研究の対象となります。

病理解剖のご承諾の際に医学研究へのご協力にもご承諾いただいておりますが、改めて研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を承りますようお願い申し上げます。

この研究への協力承諾の撤回を希望される場合や、また研究に関するご質問がある場合には、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

研究題名：「加齢に伴う血管の老化に関連する糖鎖および関連分子の検討」「承認番号：R20-25」

研究期間：承認後～令和 4 年 3 月 31 日

研究責任者（所属・職名・氏名）

東京都健康長寿医療センター・研究所・老年病態 研究員 佐々木紀彦

研究分担者（所属・職名・氏名）

東京都健康長寿医療センター・病理診断科・部長

新井富生

東京都健康長寿医療センター・病理診断科・医師

野中敬介

(2) 研究の意義・目的について

培養細胞の老化で増加することを見出した糖鎖や関連分子について、加齢した血管組織で発現が増加しているかを検証し、血管の老化に伴う様々な加齢性疾患の予防や治療を目指します。

(3) 研究の方法について

培養細胞の老化で増加することを見出した糖鎖や関連分子について、抗体や糖鎖を認識するレクチンと呼ばれるタンパク質を用いて、組織染色により検討します。

(4) 資料の保管と、他の研究への利用について

本研究を行うときには、個人情報とは完全に分離した形で扱っておりますので、患者さんの個人情報が漏れる心配はありません。また、国内外に研究の成果を論文・学会等で発表する場合も、個人の特定はできないようにしております。他の研究への利用はありません。なお、研究終了後のデータの扱いについては、論文の根拠となるデータは発表後、5年間保管します。保管責任者は研究責任者とし、保管場所については東京都健康長寿医療センターの所定の場所で、厳重に保管します。

(5) 資料の入手または閲覧、開示

本研究の計画や方法についてはご遺族の希望に応じて、資料の要求または閲覧ができません。本研究の結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にご旨をお伝え頂ければ、他の研究者に不利益が及ばない範囲で、研究結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報を含む場合には、資料の提供または閲覧はできません。

(6) 問い合わせ先

東京都健康長寿医療センター研究所 老年病態研究チーム 佐々木紀彦
〒173-0015 東京都板橋区栄町 35-2
電話 03-3964-3241 内線 4421 (平日 9:00~17:00)